

## 今日の学習目標



- ・現代の大学における学びの変化を理解する
- ・アクティブ・ラーニングの意義を理解する
- ・それにとまなう自大学の学習環境のあり方を考える

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

1

## 今日のスケジュール



1. 講義(40分)  
(アクティブラーニング)
2. グループワーク(30分)
3. 各グループ発表(15分)
  
4. ふり返し/アンケート(5分)

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

2

## 1. グループワークでの約束



- ・グループワークに必要なスキル
  - ー 促す、教える、ほめる
  - ー **否定しない**、けなさない
- ・オンとオフの明確化
  - ー 適切な時間管理、時間厳守
  - ー **平等な発言時間**

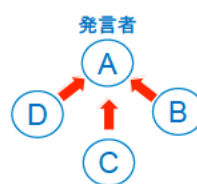
TOHOKU university LIBRARY since 1911.

3

## 2. 話し合いスキルの基本



### ①傾聴



A: 発言者としての高揚感と意識を高める  
他: 発言内容の理解の促進と深化

基本的信頼感の醸成

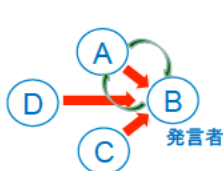
TOHOKU university LIBRARY since 1911.

4

## 2. 話し合いスキルの基本



### ②ミラーリング



B: 理解の確認、理解に基づく発言者Aに対する尊敬  
A: 発言内容のモニタリング、補足による協同

基本的信頼感の醸成

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

5

## 3. 協同学習の基本技法



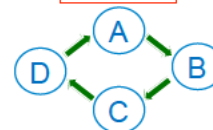
### 「ラウンド・ロビン Round Robin」

#### ◆手順

- ① 課題の理解
- ② 一人で考える
- ③ グループ内で順番に考えを述べる  
(ほぼ同じ時間を使って)
- ④ 全体で話し合う

個人思考

集団思考



TOHOKU university LIBRARY since 1911.

6

#### 4. 本日のグループワーク



- ①各自の大学の学生や教育の状況について説明する。(ラウンド・ロビン)
- ②それをふまえた学習支援のアイデアを語り、意見交換を行う。(ラウンド・ロビン)
- ③面白かった事例をグループで選ぶ。

#### 5. 協同学習の意義



単なるグループワークではない、  
「協同学習」の意義

- ・ともに心と力をあわせて  
仲間と自分のために働く → 協同の精神
- ・仲間と交流して、ともに  
新しいものを創り上げる → 構成主義

※構成主義 (constructivism) とは、「学習者の周りの事象と学習者がすでに有している知識との間のインタラクションを通じて、学習者の知識が再構成されることが学びであるという考え方」。